

第1学年 西浦 亮

休校となって2週間、なかなか出口が見えない状況ですが、体調管理に気をつけて毎日規則正しい生活を送っているでしょうか。

千葉先生に続いて、東日本大震災のことを話そうと思います。10年前十一中に着任して、まもなく1年が過ぎようとしたころ、この大震災がおきました。校庭にはひびが入り、4階渡り廊下の天井も一部崩落しました。先生は担任をしていた2-5の教室で合唱コンクールの練習をしていました。あのときも「この先どうなるんだろう」という不安でいっぱいでしたが、3日後に延期となった合唱コンで生徒のみなさんからたくさんのお言葉をもらったことを覚えています。

今年プロ野球ロッテマリーンズに入団した佐々木朗希選手は9歳のとき、この大震災で父、祖父母の家族3人を亡くしたそうです。そのときから今に至る思いを佐々木選手は次のように語っています。「悲しいことではあったんですけど、すごく今に生きているなど。当たり前が当たり前じゃないとか、今あるものがいつまでもあるわけじゃないとか、そういうのを思い知らされました。」

だからこそ、「今を大切に」「前向きに」がんばっていくことが必要だと思います。「心と体の健康」に気をつけながら、新しい学年への準備を進めていきましょう。

では、クイズです。十一中は昭和22年開校、令和2年度には創立73年を迎えますが、創立間もない昭和20年代中頃の校舎はたいへん寒かったため、〇〇校舎と呼ばれていました、さて、〇〇に入るのは次のどれ？

ア、北極 イ、冷蔵 ウ、シベリア エ、ぶるぶる

※11日クイズの答え…先生の好きなキャラクターは「バッドばつ丸」です。いろんなグッズ持っています。